

こども通信

暑中お見舞い申し上げます。

例年以上に暑い夏になっていま

す。自然災害が多発。熱中症発生も

多くなっていますので、「注意を。

無事に夏を乗り越えられることを

願っています。

* * *

「企業は社会の公器」

と言ったのは、松下電

器(現在のパナソニック)

の創業者、松下幸之助だ

そうです。企業がもつ人材、資金、

土地、物産などは社会から預かった

ものであり、それを活かして企業活

動を行い、プラスして社会に返す必

要がある、という考え方です。

ところが、今まさに、これとは対

極の企業が問題になっています。車

の修理を請け負って、必要のない修

理をしたり、さらに自分たちで傷を

つけて、修理費を水増し。それ以外



にも数々の不正な行為を行なって

たようです。

社長は会見で的外れなことを言

い、まるで「ソントのような状態。こ

んなトップには「社会の公器」の意

味は理解できないでしょう。

さらに自分たち経営陣は知

らなかつた、現場が勝手に

やっていて、企業ぐるみでは

ないなど言い訳にもならない

ことを口にしていました。

資本主義の世の中ですが、何でも

好き勝手にやっていいことはありません。

法律を守り、さらにモラルの

遵守も求められます。こんな企業は

かりになると、資本主義の負の側面

も見えてきます。「強欲な資本主義」

とも言えるでしょう。

でも、一つの企業だけの問題では

ありません。社会全体の中で似たよ

うなことが色々ありそうです。

感染症情報

いよいよ新型コロナウイルス感染症の第9波が始まったようです。当院が国に報告している発生数では、7月24日からの1週間で54名でした。今冬の第8波では最多が59名だったので、すでにそれに匹敵するほどの発生だと言えます。当時とは感染対策は緩やかになっているので、今後流行が一挙に拡大する可能性があります。十分に注意しててください。

6月から始まっていたRSウイルス感染症は7月に大きな流行になりました。7月後半からは徐々に流行が治まっているようですが、引き続き注意をお願いします。気管支炎症状を起し、乳児がかかると呼吸困難になることがあります。成人の方がかかると通常は軽い感冒症状ですが、高齢者は肺炎を起こすことがあります。

ヘルパンギーナも大きな流行になっています。熱と喉の痛みが特徴のウイルス性感染症です。全国で大流行になっていて、当地は少し遅れて流行が始まりました。同様の夏かせである手足口病も、他の地域では流行しているので、今後当地でも流行がおきることでしょう。

感染性胃腸炎の流行も続いています。子どもは脱水や低血糖になりやすく、ぐったりしている場合は輸液などを早めに行う必要があります。お子さんの様子をしっかりと見ててください。

溶連菌感染症、アデノウイルス感染症なども少数ですが発生しています。

政治家も同じようなことをよく言いますね。問題を起こしても「秘書がやったことで、自分は知らない」が常套句です。このままでいいはずはありません。社会の世直しが必要です。

今月の予定

夏休み休診のご案内

8月10日(木)～15日(火)

※長い期間の休診になりますが、よろしくお願いいたします。

※病児保育室はこの間も通常通りです。

院長・副院長出務

上越市夜間診療所勤務 16日

上越有線放送「健康ライフ」15日

FM上越「Dr. ジローのこども健康相談」

毎週木曜午後1:20頃～(76.1MHz)

感染症情報(毎週)

FM上越: 木曜午後1:35頃～

上越有線放送: 月曜午後6時～(番組内)

医院ホームページ内

塚田こども医院

小児科・アレルギー科
漢方内科

上越市栄町 2-2-25

TEL 025-544-7777(代)

025-544-7779(保育室)

FAX 025-544-8456

ホームページ

www.kodomo-
iin.com



水の事故や熱中症

夏休みに入ったとたんに、子どもたちが川やプールで溺れる事故が各地で起きています。楽しいはずなのに一転し、悲しい夏休みになってしまいました。

夏は子どもたちは活動的になります。長期休暇になり、日頃のストレスを発散するかのようになり、思いっきり遊びたくなります。暑い日が続いていますから、水での遊びは快いものです。

でもそこに事故の危険が潜んでいます。子どもだけで水辺で遊ぶことがないように、子どもたちによく言い聞かせてください。

大人が一緒にいても当てにならないことがあります。例えばバーベキューをしていると、子どもへの注意が散漫になります。気づいたら周囲から消えていたということも起こります。

プールのように監視員がいるところでも事故は起きています。漫然と子どもたちの様子を見ているだけで

は、溺れている子どもを見失うこともあります（子どもは静かに沈み、溺れていきます）。もしかしたら、という細心の注意をしながら、監視作業に集中してもらう必要があります。

家族同士のグループなどで水辺にいった時には、「専任の監視係」を決めて、その人は子どもの監視だけをしてください。他の仕事はノータッチ。子どもが遊びにきても、一緒に遊んではいけません。監視の仕事に全集中です！

●熱中症も予防を

これだけ暑い日が続くと、熱中症のリスクはとて高くなります。子どもだけではなく、大人や高齢者も

注意が必要です。

熱中症は防ぐことができる事故です。極端な暑さを避け、水分を十分にとり、夜もしっかり休み、バランスのとれた食事をするのが基本です。

もし熱中症になった時でも、軽症の段階で気づき、適切に対処すれば大きなトラブルにはなりません。ひとたび重症になってしまうと、容易に命を失うことがあります。「早期発見、早期治療」が原則です（その前に予防が最も大切ですが）。

子どもは自分から訴えをすることはないかもしれませんが、一緒にいる大人が子どもの様子に変化がないか、絶えず見続けているようにお願いします。

●夏場の体調不良に備える漢方

私が子どもの頃はエアコンなどはなく、暑い夏を扇風機だけで過ごしていました。夏場は食欲がおち、元気もなくなり、痩せ細っていたことを覚えています（泣）。

今は住環境が整備されてきましたし、熱中症予防のためにエアコンの

使用も勧められています。日頃の生活も格段によくなっています。なので、「夏バテ」になる子どもはきつと少なくなっていることでしょう。

それでも「暑さが苦手」「暑いところにいると吐き気がしてくる」「体がだるい」「良く眠れない」「食欲がわかない」といったような訴えも外来では見聞きます。

昔から「暑気あたり」と呼ばれている状態です。程度が強くなると日常生活に支障が出てきます。

こうった時に使う漢方があります。「清暑益気湯」がそうです。前からしても暑さから体を守ってくれそうですね！これを夏場に継続して服用することで、夏を乗り切ることができそうです。

なお、熱中症予防のためには「五苓散」という漢方を使います。まず朝服用し、日中に暑さのために辛くなってきたら追加して服用します。

五苓散は体内の水の流れを整えてくれる役割があり、雨の日の頭痛にも役立ちます。熱中症予防にも役立つので、夏場も大いに活躍してくれそうです。

熱中症の症状の分類（重症度）

○1度（軽症）

めまい、たちくらみ、筋肉痛、こむら返り、汗をふいてもふいても出てくる

○2度（中等症）

頭痛、吐き気、嘔吐、全身のだるさ。暑いのに汗がでにくくなる

○3度（重症）

意識がもうろうとする、けいれん、体温が40度以上になる